

令和7年度第2回 かつらぎ町地域公共交通活性化協議会

会 議 録

日時： 令和7年6月18日(水) 15:00～15:51

場所： かつらぎ町保健福祉センター3階研修フロア

出席者：出席18 名(うち 2 名は議題2から出席)

- 会議次第： 1. 開会
2. あいさつ
3. 議事
4. 閉会

議事について：

承認

議題1 かつらぎ町地域公共交通活性化協議会設置要綱の改正について
かつらぎ町地域公共交通活性化協議会設置要綱の改正について、承認を求める。

承認

議題2 町実施の実証運行について
令和7年度に町が実施する実証運行事業について承認を求める。

【質問事項】

○5エリア各1台で運行するということだが、許可証を車両のダッシュボードに置いて走行することになる。交通事業者が所有している車両すべてを使用する予定か。

→答：ジャンボタクシー車両を除くセダン型タクシー車両すべて。

○町内各駅で乗降があると思う。笠田駅としているのは、笠田駅の利用を勧めていくのか、例示で各駅を車両がまわっていくことを想定しているのか。

→答:利用者が多いのは笠田駅だが、データを集めた上で検討したい。

○資料 2 P9 に笠田駅 7:46 発とあるが、この電車に間に合う運行だけか。これよりも早い電車に間に合うようにすることも可能か。

→答:ドライバーの就労状況を考慮した運行としているため、これより早い時間帯の運行は不可。

○1乗車600円となっているが、障害者割引等の割引はあるか。

→答:介護タクシーなどの別制度があるので、乗車料金は割引せず、定額とする。

○AI 配車とあるが、地域の実情はドライバーの方が熟知している。

→答:他自治体でシステム化したことによる弊害も出ているようなので、事業者とも相談しながら進めていきたい。

(委員より)AI 配車というのは、予約を同時にたくさん受付したときに、システムが自動的にルート作成してくれるものと認識している。ルート作成されるが、その通りに運行しないといけないわけではなく、ドライバーが都度判断できる。

○システムは決定しているのか。

→答:システムについては例示で、事業者もまだ決まっていない。運行事業者にとって最適なシステムを選んでもらいたい。

【意見】

○和歌山運輸支局2名は、行政の中立的な立場として、議題2の審議は辞退する。現状の課題、実証運行の検証結果を踏まえて、協議会や部会を活用し、よりよいまちづくりのための公共交通の検討をお願いしたい。

→答:異議なし

○高校生の通学状況がわかる資料が必要。

→答:次回協議会で提示する。

承認

議題3 その他

(委員より)

○資料に基づき説明。公共交通利用促進の重要性についての提言。

【意見】

資料で示されている鉄道分担率の数字をどう捉えるかが大事。割合が少ないからという理由でなくしてしまうと、途端に通学に困る人が出てきてしまう。10回に1回とは言わず、なるべく、利用してもらうようにすべき。

(事務局より)

○本日、地域公共交通計画策定支援業務のプロポーザル審査を実施した。優先交渉権者は株式会社バイタルリードとなった。契約に至った場合は、報告する。

(委員より)

○今後のスケジュールは。

→答:実証運行については、今回の協議会で承認を得たので、事業者選定を進める。計画策定については、契約を進める。スケジュールは、契約後、事業者と協議して決まっていくと思うので、改めて共有する。次回協議会は8月を予定している。